

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第16回理事会議事録（案）

- 日時：平成26年7月6日（日）10:30～12:30
- 場所：沖縄大学2号館2-406
- 出席（役員）：中野義勝、エコガイドカフェ（猪澤也斗志）、自然保護・緑化推進課（謝名堂聡）、木村匡、桜井国俊、藤田喜久、WWF ジャパン（権田雅之）
- 委任状：西平守孝、沖縄県ダイビング安全対策協議会（案納昭則）、梶原健次、環境省那覇自然環境事務所（中野圭一）、後藤亜樹、コーラルクエスト（岡地賢）、沖縄リーフチェック研究会（安部真理子）、八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）
- 事務局長：神谷大二郎
- 事務局：沖縄県環境生活部自然保護・緑化推進課（多良間一弘）
- 運営委員：沖縄県環境科学センター（山川英治）
- 議事録署名人：沖縄県自然保護・緑化推進課（謝名堂聡）、木村匡

役員23名中、上記8名の出席者（会長、理事6名、事務局長）および8名の委任状により、成立要件である理事の過半数を満たしたので成立、内容を協議し決定した。

議事録署名人として沖縄県自然保護・緑化推進課（謝名堂聡）、木村匡理事が選出された。

【アンダーライン部分が理事会での決定事項】

【「・」は説明事項および提言事項】

【「→」は説明事項や提言事項に対する意見】

（1）事務局および各委員会からの報告（資料1）

ア. 事務局からの報告

①総会の議事について

- ・事務局より議案書についての説明があった。総会議案書について、第15回理事会で指摘のあった箇所について修正した。（平成25年度活動報告の修正：後援イベントの記載漏れ、平成26年度事業計画の修正：スケジュール表の追加、議案の追加：将来委員会の設置について）。
- ・第15回理事会で示した平成26年度収支予算案について誤記があったので修正された内容が報告された。

②役員を選出について

- ・平成26年5月16日（金）～6月1日（日）の期間に実施した、役員選挙の結果について事務局より報告があった。
- ・開票作業については、選挙管理委員会が行い、立会人として、監査役の沖縄県衛生環境研究所、運営委員会の山川英治氏が参加した。
- ・役員選挙では、会長1名、理事18名を互選により選出され、規約により、副会長1名、監査役2名、理事2名が会長より指名されている。
- ・得票数の多かった被選挙人から順に選出されるが、得票数の多かった被選挙人の内、1名が

副会長へ指名され、4名が辞退し、繰り上がりにより順に18名が選出されている。

・規約第24条により、会長により事務局長が任命された。

・役員を選出結果は以下の通りとなり、事務局長以外は総会で議決を得る必要がある。

・事務局長は会長からの任命となっている。

【会長】 中野義勝

【副会長】 八重山サンゴ礁保全協議会

【理事】

- ・沖縄県自然保護・緑化推進課
- ・宮古島マリリゾート協同組合
- ・一般社団法人渡嘉敷ダイビング協会
- ・NPO 法人グローイングコーラル
- ・エコガイドカフェ
- ・沖縄県宮古事務所
- ・WWF ジャパン
- ・藤田喜久
- ・西平守孝
- ・環境省那覇自然環境事務所
- ・沖縄リーフチェック研究会
- ・泡瀬干潟を守る連絡会
- ・NPO 法人沖縄エコツーリズム推進協議会
- ・梶原健次・木村匡
- ・NPO 法人沖縄県ダイビング安全対策協議会
- ・コーラルクエスト
- ・後藤亜樹
- ・特定非営利活動法人マンガローブ EE クラブ
- ・佐藤崇範

【監査役】 ・沖縄県衛生環境研究所 ・沖縄県立博物館・美術館

【事務局長】 ・沖縄県自然保護・緑化推進課

→辞退者がいるが辞退した理由は聞いたのか。

・辞退の理由については特に事務局から確認していない。

(イ) 企画委員会からの報告

①平成26年度事業計画

・平成26年度事業計画について資料1のスケジュール表のとおり説明された。

→資料1のスケジュールについて議案書と内容が違う(将来委員会、ロゴマークの公募などが総会議案書に載っていない)。

→理事会で承認されていなかったため、議案書には載せていない。

→未決定事項でも活動計画については総会で承認する必要があるので、総会では説明を加えること。

・協議会ロゴマークの審査の方法について、審査方法をどうするか。

→展示会を開催し一般投票を行う事に加え、理事会で投票してはどうか。WEBで投票できる仕組みができるのであればそれも良いかと思う。ロゴマークの審査とイメージ展の審査は同じように並行して行うこと。

→審査は、一般投票、理事会投票、WEB投票の仕組みを検討すること。

→応募要領などは広報委員長と調整しながら進める。

・イメージ展では副賞をだしているが、ロゴマークも同様にするか。

→予算的に可能であれば副賞をつける。

(ウ) その他

- ・特にその他報告はなかった。

(2) 平成26年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援助成事業（資料2）

(ア) 各種要領と要綱（審査要領の改定について）

- ・サウジアラムコ助成事業の審査要領について審査会より、審査要領の改訂が提案された（資料2-1）。

→以下のとおり修正することで審査要領が承認された。

修正前	修正後
ウ. 上記のア、イの項目に限らず、特別に配慮することがあれば審議して序列変更の可否を決める。なお、特別に配慮することに相当するかどうかは審査会で審議して決める。	ウ. 上記のア、イの項目に限らず、 <u>安全性や遵法性など</u> 特別に配慮することがあれば審議して序列変更の可否を決める。なお、特別に配慮することに相当するかどうかは審査会で審議して決める。

修正前	修正後
審査員は総得点50点から、申請書に減点対象となる内容があれば、対応する該評価項目の配点内（最低得点は0点）で減点していく。減点する場合は、下記の基準で判断すること。	審査員は総得点50点から、申請書に減点対象となる内容があれば、対応する評価項目の配点内（最低得点は0点）で減点していく。減点する場合は、下記の基準で判断すること。

修正前	修正後
①申請書中に、減点対象となる内容があれば、その対象毎に減点する。	① <u>評価項目に</u> 、減点対象となる内容があれば、その対象毎に減点する。

(イ) 審査会構成員について

- ・事務局が提案した審査会構成員が承認された。

(3) その他

(ア) 交流会について (資料3)

- ・ 交流会の次第について説明。

(イ) その他 (旅費について、将来委員会について)

【旅費について】

- ・ 第15回理事会で承認された理事会や委員会開催時の旅費について、事務局より1回2,000円の謝金を支払うことが提案され、承認された。

【将来委員会について】

- ・ 総会では、協議会の将来を考える将来委員会の設置を提案する。将来委員会のあり方について考え方を議論する必要がある。
- ・ 会員のメリットになることが何か明確にする必要がある。
- ・ どういうことを目指している組織なのか明確にしておく必要がある。
- ・ 協議会の設立趣意書に照らし合わせると、交流会が最も重要。交流会で会員が活発にアピールできる機会を設けた方が良い。
- ・ サング礁保全に関する相談窓口となればよいと思う。